

# 東濃農林事務所の普及活動状況

令和7年12月

## 安心して身近な「ぎふの食」づくり

### ■有機農産物・東濃地区有機農業推進プロジェクトチーム

#### 有機農産物の栽培実証結果を踏まえ、次年度の活動方向を検討

12月26日、農事組合法人 日吉機械化営農組合（瑞浪市）で東濃地区有機農業推進プロジェクトチーム会議を開催し、生産者等11名が出席した。

農業普及課では、水稻品種「ミルキークイーン」の有機栽培の現地実証に取り組んできた。

実証結果から、基肥と穂肥で異なる有機質肥料を施用し肥効の改善による増収や、資材施用による抑草効果が図られたと報告した。生産者からは、今までと比較し、有機栽培に向けてある程度の目途が立ったが、更なる改善が必要との意見があった。

チーム会議では、メンバーに新たに多治見市、土岐市の農政担当課を加え、有機農業に対する理解醸成などの取り組みを強化していく。

令和8年度は、水稻の有機栽培の展示ほを設置し、研修会を開催するなどの普及活動を行う。栽培技術改善には、新たな手法による雑草抑制効果を検証する。

農業普及課は、今後も栽培技術の現地実証を通じて、有機農業の推進に取り組んでいく。



【チーム会議の状況】



【資材施用後の状況】